



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 株式会社アスモ

上場取引所 東

コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室室長 (氏名) 岡田 秀樹

TEL 06-6683-3101

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,767	53.8	1,423	165.7	1,441	168.7	1,271	185.1
25年3月期第3四半期	7,002	21.3	535	△4.5	536	△4.0	446	△15.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,358百万円 (170.9%) 25年3月期第3四半期 501百万円 (△5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	9.07	—
25年3月期第3四半期	3.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	5,345	3,540	64.1	24.42
25年3月期	4,087	2,304	51.8	15.09

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 3,423百万円 25年3月期 2,115百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,375	35.5	1,858	128.3	1,869	127.6	1,494	94.5	10.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	151,451,750 株	25年3月期	151,451,750 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	11,242,961 株	25年3月期	11,242,601 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	140,209,058 株	25年3月期3Q	140,209,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和などの効果により円安・株高が進行し、企業収益や個人消費に改善の動きが見られるなど、緩やかな回復基調となりました。

しかしながら、欧州債務問題や新興国経済の成長鈍化など世界経済の下振れ懸念もあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、平成25年4月1日付でそれぞれの事業分野における迅速・的確な対応、事業分野に適応した人材の育成・教育・採用、事業分野に特化した判断による業務の効率化、経営責任の明確化、将来を担う経営者の育成を目的として、卸売事業を営む㈱アスモレーディング、給食事業を営む㈱アスモフードサービスを新設分割の方法により設立いたしました。

今後、当社は持株会社として経営戦略業務に特化し、各子会社は前述新設分割の目的を達成することで事業規模の拡大と経営基盤の強化をはかり、グループ全体の企業価値の向上に努めてまいります。

また、今後の介護事業等との相乗効果を見込み、平成25年12月27日付けでブロードマインド少額短期保険株式会社の株式を取得したことにより連結子会社化し、新たに少額短期保険事業へと進出いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高10,767百万円（前年同四半期比 53.8%増）、営業利益1,423百万円（前年同四半期比 165.7%増）、経常利益1,441百万円（前年同四半期比 168.7%増）となり、当第3四半期連結累計期間における四半期純利益は、1,271百万円（前年同四半期比 185.1%増）となりました。

主なセグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しを行い、以下のようにセグメントを変更しております。また、前年同四半期情報に関しましては、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ各社の統制・管理、不動産の賃貸	
アスモレーディング事業 (株式会社アスモレーディング)	食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	高齢者介護施設の入居斡旋・訪問介護事業所の展開	
OX (H. K.) 事業 (OX (H. K.) COMPANY LIMITED)	香港において、外食店舗の運営	
そ の 他	(サーバントラスト信託株式会社)	信託事業
	(ブロードマインド 少額短期保険株式会社)	少額短期保険事業

① アスモレーディング事業

アスモレーディング事業におきましては、穀物価格高騰による飼料価格の上昇や円安の進行による原材料輸入価格の上昇、原油高による運送・保管料等の上昇が依然として続いており、仕入コストが増加しておりましたが、第2四半期連結会計期間より販売価格に転嫁させることができるようになりました。

また、販売に関して低価格商品中心の販売が増加し、中でも当初の予算と比較して冷凍ポークの販売が増加したこと、お客様のニーズにあった購買・販売がきちんとできたこと、当社の特徴であるメキシコ産商品の新たな供給先の獲得により需要に見合った購買ができたことで他社との差別化を図り、安定的な取引を継続すること等ができました。

さらに、通信販売の売上が予想以上に伸び、新たな柱として今後は、確立していくことができると考えております。

今後は、メキシコ産商品に加えて米国産牛肉や畜種の取扱いを増やし、合わせて当社独自の視点により日本のマーケットに見合った商品を開発することで、既存顧客の満足度の向上と新規顧客の拡大で販売の増加に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,726百万円、セグメント利益（営業利益）は、7百万円となりました。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、積極的な営業活動により受託施設数が、前連結会計年度末と比較して当第3四半期連結会計期間末現在27施設増加し、264施設（前年同四半期末時点は230施設）となりました。

また受託先につきましても、高齢者施設以外で「官公庁の食堂・大学の学食・病院における食事提供」など、様々な業態にお食事を提供しております。

さらに、今後の海外における給食受託業務の取り組みに向けて、連結子会社のOX（H.K.）COMPANY LIMITEDにてスタッフとして研修を受けております。

今後とも様々なお客様へお食事が提供できるように心がけ、よりお客様にご満足いただけるように努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,975百万円、セグメント利益（営業利益）は、153百万円となりました。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、従来の高齢者介護施設の入居斡旋業務に加え、前期に当社100%子会社である株式会社アスモ介護サービスを設立し、訪問介護の分野に進出いたしました。

新たに開始しました訪問介護につきましても、事業の開始以来積極的な事業所の開設を進めており、当第3四半期連結会計期間末時点において、32事業所（大阪府内10事業所、埼玉県内6事業所、神奈川県内4事業所、千葉県内3事業所、東京都3事業所、他6事業所）を設置し、ご契約者数は1,361名となっております。

また、要介護認定の申請の代行や介護を必要とされる方が適切にサービスを利用できるように、居宅介護支援事業所を新たに8事業所開設し、訪問介護サービスとの連絡・調整を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、2,671百万円、セグメント利益（営業利益）は、914百万円となりました。

④ OX（H.K.）事業

OX（H.K.）事業におきましては、連結子会社であるOX（H.K.）COMPANY LIMITEDが、香港にて外食店舗を運営しており、当第3四半期連結累計期間において、新規3店舗を出店し、合計16店舗（6業態）を展開しており香港における当社の存在感を高める事に注力しております。

また本社機能の向上とセントラルキッチン機能の向上を図るべく本社機能を移転させ、売上の構成比率を飲食店収入だけでなく、香港に進出している日系飲食店向けの卸業務収入や香港進出を検討している日系企業へのコンサルティングなど多角的な収益構造を構築してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,347百万円、セグメント利益（営業利益）は、81百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は5,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,258百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が417百万円、商品が67百万円、流動資産の「その他」が548百万円、有形固定資産が115百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,805百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に未払金が142百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,540百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,235百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益1,271百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.1%（前連結会計年度末は51.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月7日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当社グループは平成25年4月1日付でそれぞれの事業分野においての迅速・的確な対応、事業分野に適応した人材の育成・教育・採用、事業分野に特化した判断による業務の効率化、経営責任の明確化、将来を担う経営者の育成を目的として、卸売事業を営む㈱アスモトレーディング、給食事業を営む㈱アスモフードサービスを新設分割の方法により新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	674,004	701,938
受取手形及び売掛金	1,288,914	1,706,298
商品	266,011	333,831
貯蔵品	11,957	13,084
その他	519,630	1,067,875
貸倒引当金	△2,104	△3,927
流動資産合計	2,758,414	3,819,101
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	575,331	691,292
有形固定資産合計	575,331	691,292
無形固定資産		
のれん	572,306	591,923
その他	2,242	6,833
無形固定資産合計	574,549	598,757
投資その他の資産		
その他	513,477	553,636
貸倒引当金	△334,412	△317,422
投資その他の資産合計	179,064	236,214
固定資産合計	1,328,945	1,526,264
資産合計	4,087,359	5,345,365
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	395,497	500,352
未払金	425,124	567,831
未払法人税等	199,427	141,234
賞与引当金	116,047	116,528
返品調整引当金	8,051	5,235
その他	590,110	422,293
流動負債合計	1,734,258	1,753,476
固定負債		
長期借入金	8,974	5,813
退職給付引当金	31,397	37,091
その他	8,089	8,960
固定負債合計	48,461	51,865
負債合計	1,782,720	1,805,342

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
資本剰余金	2,374,344	2,374,344
利益剰余金	△2,600,681	△1,328,960
自己株式	△42,303	△42,350
株主資本合計	2,054,631	3,326,306
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	60,830	97,498
その他の包括利益累計額合計	60,830	97,498
少数株主持分	189,176	116,218
純資産合計	2,304,639	3,540,022
負債純資産合計	4,087,359	5,345,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	7,002,298	10,767,533
売上原価	5,048,208	7,493,057
売上総利益	1,954,090	3,274,476
返品調整引当金戻入額	10,193	8,051
返品調整引当金繰入額	5,171	5,235
差引売上総利益	1,959,111	3,277,292
販売費及び一般管理費	1,423,253	1,853,534
営業利益	535,858	1,423,757
営業外収益		
受取利息	102	1,312
為替差益	6,908	14,562
その他	4,516	6,858
営業外収益合計	11,528	22,733
営業外費用		
支払利息	8,017	3,533
その他	2,816	1,441
営業外費用合計	10,833	4,974
経常利益	536,553	1,441,516
特別利益		
固定資産売却益	19	—
負ののれん発生益	—	84,582
特別利益合計	19	84,582
特別損失		
固定資産売却損	36	5
固定資産除却損	—	718
賃貸借契約解約損	—	2,057
会員権売却損	804	—
和解金	1,300	—
その他	—	735
特別損失合計	2,141	3,516
税金等調整前四半期純利益	534,431	1,522,581
法人税、住民税及び事業税	50,965	243,624
法人税等調整額	—	△27,670
法人税等合計	50,965	215,953
少数株主損益調整前四半期純利益	483,465	1,306,628
少数株主利益	37,429	34,907
四半期純利益	446,036	1,271,721

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	483,465	1,306,628
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	18,121	51,962
その他の包括利益合計	18,121	51,962
四半期包括利益	501,587	1,358,591
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,278	1,308,389
少数株主に係る四半期包括利益	46,309	50,201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,357,070	978,065	4,358,410	308,752	7,002,298	—	7,002,298
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,290	—	848	—	9,138	△9,138	—
計	1,365,360	978,065	4,359,258	308,752	7,011,437	△9,138	7,002,298
セグメント利益	44,479	77,797	527,235	90,915	740,427	△204,568	535,858

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	740,427
セグメント間取引消去	2,996
のれんの償却額	△18,270
全社費用(注)	△188,741
たな卸資産の調整額	△553
四半期連結損益計算書の営業利益	535,858

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、当社はサーバンtrust信託株式会社の株式取得により連結子会社化しております。このことにより、当第3四半期連結会計期間におけるのれんの増加額は「その他」のセグメントにおいて、204,007千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	OX (H. K.) 事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	7,100	1,726,724	4,975,731	2,671,470	1,347,109	10,728,136	39,397
セグメント間の内部 売上高又は振替高	584,662	22,420	12,488	—	—	619,570	—
計	591,762	1,749,144	4,988,219	2,671,470	1,347,109	11,347,707	39,397
セグメント利益又は損 失(△)	337,893	7,192	153,911	914,160	81,538	1,494,695	△35,737

(単位：千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	10,767,533	—	10,767,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	619,570	△619,570	—
計	11,387,104	△619,570	10,767,533
セグメント利益又は損 失(△)	1,458,957	△35,200	1,423,757

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,494,695
「その他」の区分の損失(△)	△35,737
セグメント間取引消去	△35,200
四半期連結損益計算書の営業利益	1,423,757

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、平成25年4月1日付の会社分割に伴って、第1四半期連結会計期間より経営管理区分の見直しを行い、従来の「卸売事業」、「給食事業」、「介護事業」及び「外食事業」を「アスモ事業」、「アスモトレーディング事業」、「アスモフードサービス事業」、「アスモ介護サービス事業」及び「OX (H. K.) 事業」に区分し報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、変更後の区分方法により作成した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、売上高、売上原価と販売費及び一般管理費の金額を遡って正確に抽出することが実務上困難なため、開示を行っておりません。

当第3四半期連結累計期間のセグメント情報を、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成した情報は次のとおりであります。

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	卸売事業	外食事業	給食事業	介護事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,726,724	1,347,109	4,975,731	2,671,470	10,721,036	46,497	10,767,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,420	—	12,488	—	34,908	—	34,908
計	1,749,144	1,347,109	4,988,219	2,671,470	10,755,945	46,497	10,802,442
セグメント利益又は損 失 (△)	27,864	85,589	658,161	934,536	1,706,152	△28,526	1,677,626

(単位：千円)

	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高		
外部顧客への売上高	—	10,767,533
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△34,908	—
計	△34,908	10,767,533
セグメント利益又は損 失 (△)	△253,868	1,423,757

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計	1,706,152
「その他」の区分の損失 (△)	△28,526
のれんの償却額	△22,232
全社費用 (注)	△231,635
四半期連結損益計算書の営業利益	1,423,757

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、当社はブロードマインド少額短期保険株式会社の株式取得により連結子会社化しております。このことにより、当第3四半期連結会計期間におけるのれんの増加額は「その他」のセグメントにおいて、72,450千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「OX (H. K.) 事業」セグメントにおいて、連結子会社の株式を追加取得したことにより、負ののれん発生益を計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は当第3四半期連結会計期間においては84,582千円であります。

(重要な後発事象)

本社移転の件

当社は、平成26年1月31日開催の取締役会において、本社機能の強化と業務の一層の効率化を図るため、「定款一部変更の件」を平成26年3月26日開催予定の臨時株主総会に付議するとともに、本店所在地を「大阪市」から「東京都新宿区」に変更することを決議いたしました。

なお、当第3四半期決算短信の公表日現在、本社の移転時期を決定していないため、当連結会計年度の経営成績に及ぼす影響額を客観的に見積もることはできません。

資本準備金の額の減少及び剰余金の処分

当社は、平成26年1月31日開催の取締役会において、平成26年3月26日開催予定の臨時株主総会に、「資本準備金の額の減少及び剰余金の処分」について付議することを決議いたしました。

1. 資本準備金の額の減少に関する事項

会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金を全額減少し、その同額をその他資本剰余金に振り替えます。

(1) 減少する資本準備金の額

資本準備金 2,336,010千円

(2) 増加する剰余金の額

その他資本剰余金 2,336,010千円

2. 剰余金の処分に関する事項

会社法第452条の規定に基づき、上記1.の資本準備金の額の減少が効力を生ずることを条件として、上記の振り替えにより増加したその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることにより欠損補填を行うものであります。

(1) 減少する剰余金の額

その他資本剰余金 2,424,299千円

(2) 増加する剰余金の額

繰越利益剰余金 2,424,299千円

3. 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関する日程 (予定)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| (1) 取締役会決議日 | 平成26年1月31日 |
| (2) 債権者異議申述広告 | 平成26年2月25日 (予定) |
| (3) 債権者異議申述最終期日 | 平成26年3月25日 (予定) |
| (4) 株主総会決議日 | 平成26年3月26日 (予定) |
| (5) 効力発生日 | 平成26年3月26日 (予定) |

4. その他

本件は「純資産の部」の勘定の振替処理であり、当社の純資産額に変動はありません。また、当社の連結及び個別業績に与える影響はありません。